

深草で俳句を楽しむ（1月8日）

○深草の俳句

伏見西岸寺、任口上人に逢うて

わが衣に伏見の桃の雫せよ

芭蕉

みじか夜や伏見の戸ぼそ淀の窓

蕪村

○今の俳句

早春や夫婦喧嘩を開け放ち

小西雅子（「雀食堂」）

火星ではピカソと若冲温め酒

熱爛や男が先にごめんなさい

セーターは手洗い男は丸洗い

春が来た人より長いノドチンコ

（「屋根にのぼる」）

無添加の男と暮らす春霞

どんと干すちっちゃな水着もわたくしも

梅雨晴間男の鼻毛引っこ抜く

三月の松林なりキスをせん

坪内稔典

白南風や午前にちよつとキスをして

睡蓮へちよつと寄りましょキスしましょ

三月の甘納豆のうふふふふ

たんぽぽのぽぽのあたりが火事ですよ

○俳句を作ろう（詠もう）

・写生 お白粉の残りてゐたる寒さかな

吉右衛門

・季語＋思い 鰯雲人に告ぐべきことならず

楸邨

・季語＋情景 柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

子規

初雪や一二三四五六人

一茶

遠山に日の当りたる枯野かな

虚子